

NP-BBR 設定コマンド クイック・リファレンス

1 PPPoE に関する設定(フレッツ ADSL 等での接続設定)

- 1.1 PPPoE を有効/無効にする
`main <0 | 1> pppoe <on | off>`
- 1.2 PPPoE のサービス名を指定する
`pppoe 1 servicename <サービス名>`
- 1.3 PPPoE のユーザ ID を指定する
`pppoe 1 id <ユーザ ID>`
- 1.4 PPPoE のパスワードを指定する
`pppoe 1 password <パスワード>`
- 1.5 指定した PPPoE セッションを利用できるクライアントの制限
`pppoe 1 client <開始 IP アドレス-終点 IP アドレス>`
- 1.6 PPPoE の自動発呼をおこなうかどうか
`pppoe 1 connectondemand <on | off>`
- 1.7 PPPoE の無通信タイムアウトの設定
`pppoe 1 idletimeout <時間>` (時間の単位は分)
“0” を指定すると無効になります。
- 1.8 PPPoE の最大接続時間の設定
`pppoe 1 maxtimeout <時間>` (時間の単位は分)
“0” を指定すると無効になります。
- 1.9 PPPoE が参照する DNS サーバーの指定
`pppoe 1 dnserver <IP アドレス>[<IP アドレス>]`
- 1.10 PPPoE 接続時の認証方法の選択
`pppoe 1 auth <any | pap | chap>`
- 1.11 PPPoE を接続する
`connect`
- 1.12 PPPoE を切断する
`disconnect`

1.13 リンクの自動監視をおこなうかどうか

```
pppoe 1 lcpchorequest <on | off>
```

コマンドによる PPPoE 接続設定例

```
main 0 dhcp off
```

```
main 0 autodns on
```

```
main 0 pridns 192.168.254.254
```

```
main 0 pppoe on
```

```
pppoe 1 use on
```

```
pppoe 1 id <user id>
```

```
pppoe 1 password <user password>
```

```
pppoe 1 connectondemand <on | off>
```

```
pppoe 1 idletimeout <time>
```

```
pppoe 1 maxtimeout <time>
```

```
pppoe 1 dnsserver <primary> <secondary> -オプション
```

```
pppoe 1 auth any
```

1.13 TCP tcpmaxsegmnetsize(MSS)を変更する

```
admin tcpmaxsegmentsize <MSS 値>
```

2 IP 設定のカスタマイズ

2.1 NP-BBR Ether0 側 IP アドレスを手動で設定する

```
main 0 ip <IP アドレス>
```

ローカルルータとして使用する時は

NATPAT の設定を解除して下さい。

2.2 NP-BBR Ether1 側 IP アドレスを手動で設定する

```
main 1 ip <IP アドレス>
```

ローカルルータとして使用する時は

NATPAT の設定を解除して下さい。

2.3 ネットマスクを変更する

```
main <インターフェース番号> mask <サブネットマスク>
```

2.4 NP-BBR にルーター名(ホスト名・コンピュータ名)を設定する

```
main <0 | 1> routername <ルーター名>
```

WAN が Ether0 側の場合、main 0 routername <ルーター名>

3 ルーティングの設定

3.1 デフォルトゲートウェイを設定する

```
main <インターフェース番号> gateway <IP アドレス>
```

3.2 スタティックルートを登録する

```
route <番号> <ネットワーク番号> <サブネットマスク>  
<メトリック> <インタフェース> <GatewayIP アドレス>
```

3.3 スタティックルートのエントリを削除する

```
route <番号> delete
```

3.4 RIP (v1) を有効にする

```
admin rip 1
```

RIP の送信、受信方法の指定

```
main <インターフェース番号> rip <both | off | send | recv >
```

3.5 RIPv2 を有効にする

```
admin rip 2
```

3.6 RIPv1 と RIPv2 を同時に有効にする

```
admin rip compatible
```

3.7 RIPv1, RIPv2 を無効にする

```
admin rip off
```

3.8 ルーティングテーブルを表示する

```
show routetable
```

4 DHCP サーバーの設定

4.1 DHCP サーバ機能を使用する

```
dhcp <インターフェース番号> server on
```

4.2 DHCP サーバ機能を使用しない

```
dhcp <インターフェース番号> server off
```

4.3 割当開始 IP アドレスを指定する

```
dhcp <インターフェース番号> startip <IP アドレス>
```

4.4 割当てる IP アドレスの個数を指定する

`dhcp <インターフェース番号> noofip <IP アドレス個数>`

4.5 IP アドレスのリース時間を設定する (単位: 時間)

`dhcp <インターフェース番号> leasetime <リース時間>`

4.6 クライアントに割り振るプライマリ DNS サーバアドレスの設定

`main <0 | 1> pridns <プライマリ DNS サーバの IP アドレス>`

例: WAN が Ether0 側の場合、`main 0 pridns <IP アドレス>`

4.7 クライアントに割り振るセカンダリ DNS サーバアドレスの設定

`mein <0 | 1> secdns <セカンダリ DNS サーバの IP アドレス>`

例: WAN が Ether0 側の場合、`main 0 secdns <IP アドレス>`

4.8 クライアントに割り振るドメイン名を設定する

`main <0 | 1> domainname <DNS のドメイン名>`

例: WAN が Ether0 側の場合、`main 0 domainname <ドメイン名>`

4.9 クライアントに割り振る WINS サーバアドレスを設定する

`dhcp <インターフェース番号> wins <IP アドレス>`

4.10 特定のクライアントに決まった IP アドレスを割当てる

`dhcp client <番号> <クライアントの MAC アドレス>
<IP アドレス>`

4.11 予約した IP アドレスを削除する

`dhcp <番号> 0 0`

4.12 IP アドレス割当の際にアドレスの重複のチェックを行う

`dhcp <インタフェース番号> check on`

クライアントに割り振るゲートウェイの IP アドレスは、NP-BBR の IP アドレスとなります。

5 DHCP クライアント機能

5.1 DHCP クライアント機能を使用する

`main <インターフェース番号(0 | 1)> dhcp on`

bootp、rarp による IP アドレス取得が ON になっている場合は自動的に OFF になります。

- 5.2 DHCP クライアント機能を使用しない

```
main <インターフェース番号(0|1)> dhcp off
```

- 5.3 DHCP クライアントのリース時間を見る

```
show main <インターフェース番号(0|1)> dhcp lease
```

- 5.4 DHCP クライアントのリースを解放する

```
main <インターフェース番号(0|1)> dhcp clearlease
```

- 5.5 ルーター名(ホスト名)を設定する

```
main <0 | 1> routename <ルーター名>
```

6 NAT の設定

- 6.1 NAT 機能を使用する

```
admin natpat <lan0 | lan1>
```

どちら側のインタフェースで有効にするかを指定する。

- 6.2 NATPAT(IP マスカレード)機能を使用しない

```
admin natpat disable
```

- 6.3 単一の IP アドレスに変換するか、複数の IP アドレスに変換す

るかの指定

```
admin global <single | multi>
```

- 6.4 NAT 機能を利用できるコンピュータを制限する

(NAT テーブルエントリの登録)

```
nat <番号> <始点 IP アドレス> <終点 IP アドレス> ** 0
```

```
admin global single
```

- 6.5 NAT 機能を使用中に、外部からアクセス可能にするホスト・プロトコル・ポートを指定する (グローバル IP が 1 つの場合)

```
nat <番号> <始点 IP アドレス> <終点 IP アドレス>
```

```
<プロトコル> <ポート番号> 0
```

(上記に続いて)

```
admin global single
```

- 6.6 複数のグローバル IP に対して外部からアクセス可能にする

```
nat <番号> <始点 IP アドレス> <終点 IP アドレス> **
```

```
<グローバル IP アドレス>
```

(上記に続いて)

```
admin global multi
```

- 6.7 NAT テーブルエントリを削除する

`nat <番号> delete`

- 6.8 NAT テーブルエントリによる制限を有効にする

`admin nat enable`

- 6.9 NAT テーブルエントリによる制限を無効にする

`admin nat disable`

- 6.10 PAT セッションを保持する時間を設定する

`admin sessiontimeout <時間>` (時間の単位は分)

デフォルトでは 30 分間パケットが流れないと

セッションを終了します

7 パケットフィルタの設定

- 7.1 IP パケットのフィルタを有効にする

`admin filter enable`

- 7.2 IP パケットのフィルタを無効にする

`admin filter disable`

- 7.3 IP パケットのフィルタを登録する

`filter <番号> <タイプ disable | pass | reject>`

<方向 in | out> <送信元 IP アドレス範囲>

<宛先 IP アドレス範囲> <プロトコル> <送信元ポート番号範

囲> <宛先ポート番号範囲> <インタフェース 0 | 1>

- 7.4 IP パケットのフィルタを削除する

`filter <番号> delete`

8 ログ送信に関する設定

- 8.1 SYSLOG によるログ送信を有効にする

`syslog ipaddress <IP アドレス>`

- 8.2 SYSLOG によるログ送信をおこなわない

`syslog ipaddress 0.0.0.0`

- 8.3 SYSLOG で送るメッセージの種類を指定する

`syslog option <SYSLOG オプション>`

- オプション : auth <on|off> - 認証
 system <on|off> - システム情報
 ppp <on | off> - PPPoE の情報
- 8.4 SYSLOG サーバがどちらの LAN に存在するかを指定する
 syslog interface <0 | 1>
- 8.5 SYSLOG パケットの送信先ポート番号の設定
 syslog port <ポート番号>
- 8.6 ログ情報をメールで送信する
 smtplog ipaddress <SMTP サーバ IP アドレス>
- 8.7 ログ情報のメールによる送信をおこなわない
 smtplog ipaddress 0.0.0.0
- 8.8 ログメールの送信先メールアドレスを設定する
 smtplog mailto <SMTP メールアドレス>
- 8.9 ログメールの送信元とするメールアドレスを設定する
 smtplog mailfrom <メールアドレス>
- 8.10 ログメールの件名を設定する
 smtplog subject <件名>
- 8.11 ログメール本文のヘッダを設定する
 smtplog header <メールヘッダ>
- 8.12 ログメール本文のフッタを設定する
 smtplog footer <メールフッタ>
- 8.13 メールサーバのポート番号の設定
 smtplog port <ポート番号>
- 8.14 ログメールで送るメッセージの種類を指定する
 smtplog option <SMTPLOG オプション>
 オプション : auth <on|off> - 認証
 system <on|off> - システム情報
 ppp <on | off> - PPPoE の情報
- 8.15 ログメールにまとめるログの数を設定する
 smtplog buffer <バッファ数>

- 8.16 SMTP サーバーがどちら側にあるかを指定する。
smtplg interface <0 | 1>
- 8.17 メール送信に必要な DayTime サーバの IP アドレスの設定
smtplg dayip <Daytime IP アドレス>
- 8.18 メール送信に必要な DayTime サーバのポート番号の設定
smtplg dayport <Daytime ポートアドレス>
- 8.19 SMTP before POP セッションに対応するかどうかを設定する
smtplg pop session <on | off>

(以下は、smtplg pop session on の場合の設定です)

- 8.20 POP サーバーの IP アドレスを設定する
smtplg pop address <POP サーバーアドレス>
- 8.21 POP サーバーのポート番号を設定する

smtplg pop port <ポート番号>

- 8.22 POP アカウントを設定する
smtplg pop user <POP アカウント>
- 8.23 POP パスワードを設定する
smtplg pop password <POP パスワード>

9 その他の運用管理に関する設定

- 9.1 ログインパスワードの設定
admin password <管理者パスワード>
- 9.2 telnet セッションの自動切断時間を設定する
admin telnettimeout <時間>
- 9.3 本装置の設定を許すインターネット側ホストの指定
admin securehost <始点 IP アドレス> [<終点 IP アドレス>]
- 9.4 サービスを停止 / 再開する

main 0 service <on|off>

10 設定・エラー情報の表示

10.1 コマンド一覧の表示

help

10.2 現在の設定内容を表示 (工場出荷値からの差異)

show config

10.3 各設定項目のパラメータを表示

show <コマンド> [<パラメータ>]

10.4 各種テーブルの表示

DHCP テーブルを表示 : show dhcpclient

ARP テーブルを表示 : show arptable

ルートテーブル表示 : show routetable

PPPoE の接続状況を表示 : show pppoe

10.5 各種エラー情報の表示

イーサネットエラーを表示 : show ether error

IP エラーを表示 : show ip error

ICMP エラーを表示 : show icmp error

TCP エラーを表示 : show tcp error

UDP エラーを表示 : show udp error

10.6 エラー情報の消去

イーサネットエラーを消去 : clear ether error

IP エラーを消去 : clear ip error

ICMP エラーを消去 : clear icmp error

TCP エラーを消去 : clear tcp error

UDP エラーを消去 : clear udp error

11 設定のクリア

全ての設定を初期値に戻す

clear config

このコマンドを実行する場合は、かならず続けて “restart ”

コマンドも実行してください。

12. その他

12.1 Ether0 ポートを全二重/半二重に設定する

```
main 0 etherduplex <full | half>
```

初期値は " half "。Ether0 ポートのみ設定可能。

13 終了と設定の保存

13.1 設定変更を保存せずに終了

```
quit
```

13.2 設定の保存

```
save
```

13.3 設定の保存と再起動

```
restart
```